



北海道総合畜産共進会
第2部 1等1席 野田 定雄さん

いまかね TOPICS



▲第2部 1等1席「かつはや」



▲第6部 1等2席「かなり」



▲第5部 1等2席「ゆに」



▲新米初出荷の祝い酒の贈呈



▲共選開始にあたり組合長より訓示

音更町の十勝農協連家畜共進会場において9月6日・7日の2日間において、第16回北海道総合畜産共進会が開催されました。

この共進会は生産農家の日々の研鑽努力による改良成果が披露される場で、全道各地の予選を勝ち抜いた肉用牛が集結し、高いレベルで競い合いました。今金町より計7頭が出陳され、野田定雄さんの出陳牛「かつはや」が第2部において1等1席に、木島隆

浩さんの出陳牛「ゆに」が第5部において1等2席、「かなり」が第6部において1等2席と非常に優秀な成績を収め、今金勢が大健闘しました。

9月10日、今金町玄米バラ集出荷調整施設への出荷が始まりました。

今年最初の出荷となつた生産者は鈴岡地区の吉本辰也さん、宝田地区の田畠大郁さんのお二人。品種は「ゆめびりか」でした。初出荷を記念して式典が挙行され、祝い酒が生産者に贈られました。また、施設の従業員を対象に安全指導が行われ、作業の危険性について確認し、安全作業に努めるよう指導を受けました。

馬鈴薯共同選果場にて9月13日、「今金男しやく」の選別作業が始まりました。8月より続いていた不安定な天候による影響が心配されましたが、非常に良い品質・形状となつています。選果の稼動開始に際しては職員・作業員に対し訓示が述べられ、品質・規格などを確認する目揃え会が行われ選別作業が開始されました。今年もホクホクした食感・甘みを味わえますので、是非とも今金男しやくを味わってみてください。





▲説明をする宇野支所長



▲部員の質問に回答する夏井氏



▲児童に説明する佐藤弘一さん



▲おいしそうに給食を食べる児童たち

J A今金町はJAグループ北海道の改革プラン（たたき台）の組合員組織討議を8月30日、開催しました。組織討議には計74名が出席し、JA北海道中央会札幌支所長・宇野広勝氏、ホクレン函館支所長・福士正二郎氏、次長・保科友紀氏が同席しました。宇野支所長より内容説明が行われ、「クミカン制度は営農をするためには必要」、「協同組合の原点に戻って役割を果たしてほしい」など、出席した組合員からは多くの意見・質問

J A今金町はJAグループ北海道の改革プラン（たたき台）

が出ました。

また、青年部員を対象とした

J Aグループ改革プランの説明会を9月9日、開催しました。

当日はJA北海道中央会札幌支所・夏井萌氏を講師に、改革プランについての説明や意見交換が行われました。普段なかなか中央会との意見交換をできない

ところもあり、青年部員からは改革プランについての質問だけでなく、様々な事について意見・質問を述べていました。

今金町内の小学校・中学校にて9月12日、今金産黒毛和牛を使った牛丼、今金産ミニトマトが学校給食として提供されました。この日は普段なかなか食べる機会のない今金産黒毛和牛と一緒に食べる「今金産黒毛和牛を使った給食の日」として交流が行われました。

J A今金町和牛生産改良組合長・佐藤弘一さんが小学校へ赴き、国産和牛の安全性や今金和牛についてPRしました。お話を終了後、児童たちと一緒に給食

をいただき、普段は口にするこ

とのできない「今金産黒毛和牛」の牛丼をおいしそうに食べていきました。

今回交流給食で使用された非

常に高価な黒毛和牛の購入にあたっては、JAバンク教育活動助成事業（食育推進事業）から助成しています。JAバンクは食育を応援します！



Next GENERATION

新時代の担い手たち

第34回

イマヌエル地区 須田 佑太さん〔23歳〕

(すだ ゆうた)

札幌大学卒（就農1年目）

《経営作物》 水稲、馬鈴薯、大豆、小豆、そば

《家族構成》 須田 由美子（母）・一由（祖父）・節子（祖母）



『就農のきっかけは?』

祖父母が農家をやっているということもあつたし、自分自身で美味しいものを作り、消費者の元に届けて食べてもらいたいと思い、就農することを決めました。

『農業をしていて感じることはありますか?』

何もかもが初めてなのでわからないことが多く、勉強の毎日です。不安なことはたくさんありますが、覚えることが楽しいです。いずれは自分が経営者になるので、自分のやり方でいいものが作れたらというワクワク感もあります。

『休日の過ごし方は?』

札幌の友達と遊びに行ったり、今金の友達と飲みに行ったりしています。

『今後の生活はどうですか?』

7年ぶりの今金の実家暮らし、田舎ならではのいいところがたくさんあるし、今金の人たちとの交流が楽しく充実しています。

『今後の夢、またはどうしていきたいか?』

須田さんの作っているものは品質もいいし、味もおいしいと言われ続ける農家になりたいです。消費者にいいものを届けられる範囲で、手広く規模拡大もしていきたいと考えています。

『須田さんより一言』

就農一年目ということで、学ぶことがたくさんあると思います。どんどん勉強し、交流も深めていきたいので、仕事・プライベートの面でもよろしくお願いします。

今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第34回目はイマヌエル地区の須田 佑太さんをご紹介します。須田さんは札幌大学を卒業後にすぐ就農され、今年で1年目になります。祖父母の下で農業について学び、様々な知識を吸収しています。趣味はフットサルと音楽。フットサルは函館のチームに所属して汗を流し、音楽はDJの練習を積んでいるそうです。そんな須田さんに色々なお話を伺いました！

取材にご協力いただきありがとうございました。わからないこともたくさんあると思いますが周りには頼りになる先輩たちがたくさんいます。積極的に知識を吸収し、将来の今金農業を背負って立つ一人として盛り上げてくださいとおもいます！

テーマ 子牛の病気予防…ワクチンの話

朝・晩と冷え込む季節になってきました。すぐ近くに長い冬も待ち構えています。ヒトも風邪などで体調を崩しがちになるこの時期。子供たちは大人以上に必ずといって風邪をひいてしまうものです。もう少しすればインフルエンザの流行に向けてワクチン等の対策を耳にする機会も増えるでしょう。

ウシでも同じなのです。親牛に比べて、体の小さい子牛たちは寒さなど周囲の環境に大きく影響を受けて簡単に病気になってしまいます。一度病気になると、成長が滞り大きくなることができなくなります。子牛の病気には、主に下痢と肺炎があります。

こういった病気を予防することの基礎となるのが、まず子牛たちの体力を損なわないこと、そして、子牛の免疫機能の成長を助け、子牛たちの手持ちの免疫能力を最大限に発揮してもらうことです。

対策としては、量的に安定した良質なミルク等の餌を与えること、寒冷にさらされないようにすきま風を防ぐこと、乾燥した清潔な牛床をつくることなど、その他にも多くあります。こういった多くの注意点をすべてクリアすることは容易ではありません。

ヒトと異なり、ウシはどうしても糞尿にさらされる機会が多く、常に危険な感染源と隣り合わせの状態にあります。

免疫の話

子牛は生まれて母牛の初乳を十分に飲むことで病気と闘うための移行抗体を手に入れます。しかし、この移行抗体も生後1ヶ月齢を過ぎた頃から低下し、3ヶ月目には消失すると言われています。よって、1ヶ月齢からは自分自身の体力と抵抗力で身を守らなければいけなくなります。子牛は大きくなるにつれて、母牛が与えてくれた移行抗体ではなく、自分の体の中で自ら病気と闘うための抗体を作ることができます。その能力は、およそ生後1ヶ月齢から発達し、生後5ヶ月齢に母牛なみの抗体生産が可能になるとされている。移行抗体が減ってしまうこと、子牛の抗体産生能力の成熟、病気にかかりやすい時期など、考慮したうえでワクチン接種を考える必要があります。



そこで病気を予防する上での、対策の一つとなるのがワクチンです。

肺炎や下痢を予防するためのウイルスや細菌に対するワクチンは多く作られています。子牛に打つだけではなく、お産前の母牛に打つことで子牛を守るものもあります。基本的に筋肉注射ですが、最近では感染源の侵入部位となる鼻粘膜に噴霧するタイプのワクチンが新しく作られています。

ワクチンを打てば必ずしも病気にならないというわけではないですし、与える餌や牛舎環境の改善などの対策をすることが第一になるとしたうえで、大切な子牛たちを病気から守る手助けとしてワクチンを効果的利用してみませんか。

各課職員の紹介

Vol. 4

4回目の各課職員の紹介は経済部 車両課・経済部 燃料課をご紹介します。JA今金町へお立ち寄りの際、または外勤の際はよろしくお願ひします。

経済部車両課



経済部燃料課



【1列目左より】 【2列目左より】 【3列目左より】 【1列目左より】 【2列目左より】

西田 光夫	原口 忠之	係 長	石上 修一	渡部 峰徳
課長補佐	大東 健吾	土橋 克二	杉本 祥子	羽土 恭平
臼井 恭昭	長谷川ひろみ	高田 巧	燃料課長	志賀 清和
車両課長	道高 寿幸	下山佳津美	湯元 則仁	
伊藤 幸浩	係 長	油谷 幸美		
調査役	田村 誠	河野 有人		
上田 訓夫	係 長	卒間 洋樹		
楠原 一晃	坪井 靖			
川上 侑佑				



日本一の今金男しやくを
守りましょう！

～ジャガイモリストセンチュウの
拡散防止にご理解・ご協力下さい～

ジャガイモリストセンチュウの侵入・拡散を防ぐために

- ①ジャガイモリストセンチュウは、土に混じって侵入・拡散します。関係者以外は畑に入らないでください。もし入る場合は靴を必ず洗い、畑から出た後も必ず洗ってください。
- ②種芋や苗木、球根などを購入（ホームセンターなど）する場合、発生地域から知らずのうちに侵入させてしまうことのないようにお願いします。
- ③中古の農機具を購入した場合、必ず洗浄して土砂の付着が無いことを確認してから使用してください。
- ④魚釣りや山菜取りに出かける場合も畑に入らないように注意してください。

JA銀行 年金お受取 キャンペーン

2014.9/1月~12/30火



年金お受取りのお手伝いをします

年金受給の資格を得ても自動的に支給が始まりますが、受給開始のお手続きをする必要があります。

JABankはご面倒な手続きをお手伝いします。

全国どこでもお引き出しできます

全国のJAバンクはもちろん、三菱東京UFJ銀行、セブン銀行、JFマリーベンク、ゆうちょ銀行のATMがご利用になります。全国のATMを合わせるとおよそ8万8千台、とても便利です。

まずはお近くのJAへご相談ください!

年金友の会のご案内

当JAで年金をお受け取りされている方は「年金友の会」へ自動的に加入されます。年会費は無料で、好評のお花見旅行、夏季宿泊旅行、パークゴルフ大会など会員総合の親睦を深めるための活動を行っております。

また、年に1度の『友の会つどい』では町民センターにおいて歌謡ショーなどイベントも行っております。この機会にぜひご参加ください。

JA銀行北海道

http://www.jabank-hokkaido.or.jp



年金の受け取りはJAへ！

他の金融機関で年金をお受け取りの方
これから年金をお受け取りになる方



受け取り口座をJAに指定していただくと…

Aコープ商品券 3,000円分 プレゼント！

■手続き方法はカンタン！

★基礎年金番号がわかるもの（年金の手紙・手帳・裁定請求書など）

★当JAの通帳・口座の印鑑

当JAに新たに年金を受給される方をご紹介していただくと…

Aコープ商品券 1,000円分 プレゼント！

■紹介の流れ

①JA金融窓口にて「年金受給紹介カード」にお客様の名前、紹介者の方の名前を記入。

②当JAより紹介者の方へ連絡をし、年金受給指定口座手続きを行います。

③紹介者の方の年金受給を確認後、お客様へ連絡うえ、商品券をプレゼントいたします。

※紹介カードは年金受給希望される方が直接ご持参いただいても構いません。

こちらのキャンペーン適用期間は

平成26年9月1日～平成27年3月31日まで

お問い合わせ先 JA今金町 貯金融資課 0137-82-0211

ワンポイント1分間運動 今月のテーマ～ペアストレッチ～

<農作業の前後にやってみましょう>



腰・臀部



胸

ストレッチの
注意点

- ①無理をして伸ばさない
- ②息を止めない
- ③反動をつけない



農作業の前後に身体を伸ばすと、心身共にリフレッシュ！！集中力も増して効率が上がりますよ。



秋は身体の疲れもたまってくる頃だと思います。適度な休憩とストレッチで乗り切りましょう。



今金町健康づくりアドバイザー
下メッツ高台地区 岸徹也さん



体側

気持ちの良い所
で止めましょう



首



ふくらはぎ・スネ

腰・ウエスト



モデル：上稲穂地区 鎌田 孝俊・由美子
撮影協力：苅屋 泰裕